

## DVセミナーを開催しました

- 平成25年10月31日に県立春日井商業高等学校でDVセミナーを行いました。
- 平成25年11月27日に中部大学でDVセミナーを行いました。

若い世代ではデートDVが起きています。「それって愛情表現なの？もしかしてデートDVではない？」気づかぬうちにデートDVの被害者・加害者になっていないか、チェックリストを使ってみなさんに考えてもらいました。大人になってからだけでなく、若年層からの啓発が必要です。

### ～デートDVチェックリスト～

- 携帯をチェックする
- 好みの服装を強要する
- デート代は相手もち
- 友だちとの付き合いを制限する
- どこで誰と何をしているか報告させる



### ◆特集◆ 男女共同参画市民フォーラムを開催しました

## 家族も仕事もどっちも大事!



### ◆生活自立度チェック◆

- お米の値段を知っている
- 生ゴミ、分別ゴミの収集日を知っている
- 電気掃除機が使える
- 健康保険証やハンコがどこにあるか分かる
- 洗濯機を使ったことが一度でもある
- テキストを見ないで作れる料理が3種類以上ある
- これからも続けられる趣味を持っている



### ●相談窓口●

DV相談、女性の悩み相談の面接相談は原則予約制です。

ところ：レディヤンかすがい

※レディヤンかすがい休館日…毎週月曜日（月曜が祝休日の場合は開館し、その直後の祝休日でない日が休みとなります）及び年末年始

相談	曜日	時間	電話
D V 相談 (電話・面接相談)	火～日曜日	9:00～12:00 13:00～17:00	☎85-7867
女性の悩み相談 (電話・面接相談)	火～金曜日	13:00～16:30	☎85-7871
女性のための法律相談 (面接相談のみ、予約制)	第1～4土曜日	10:00～12:00	☎85-4188 予約受付 (9:00～17:00)

※相談員はすべて女性です。

- 春日井市オンラインDVほっと相談（メール相談） <http://www.soudan-kasugai.jp/>  
24時間受付  
返信は火～日曜日 8:30～17:15



携帯電話からのご利用は、こちらからどうぞ。



### ●その他の相談窓口

愛知県女性相談センター（女性悩みごと電話相談） ☎052-962-2527  
月～金曜日 9:00～21:00、土・日曜日 9:00～16:00（祝日、年末年始は休み）



## 株式会社 カナメ

〒486-0856 春日井市梅ヶ坪町12番地  
☎ 050-1523-1646  
担当：梶田 090-5874-5513  
渡辺 090-6460-1275

### 1 家族も仕事もどっちも大事!

～今日からできる、楽しい家事や子育てのヒント～

1月26日 レディヤンかすがいにて

スーパー主夫 山田亮さんを招いて講演会を行いました。男性の家事・育児へのかかわり方や、楽家事の具体的な方法など、山田亮さん流の軽快なトークで楽しい講演会となりました。

ワークショップでは、参加者同士で語り合ったり、褒め合ったりし、大いに会場が盛り上がりました。

カップルや子育て世代の方、イクジイ世代の方など、幅広い年代の方が参加しました。



#### ◆参加者の声◆

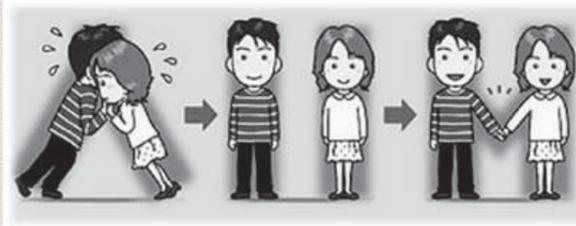
- とても良かったです!! 来て良かったです!! 私は今後、いわゆる「逆転夫婦」の家庭を築こうと考えているので、このお話を聞いてとても勉強になりました。(20代 女性)
- 帰ったら早速、妻と共同できるトコロを探して実践しようと思います。(30代 男性)
- 大切だけど忘れやすいことを思い出させていただきました。急には恥ずかしいけど、コミュニケーション「ありがとう」の一言を言えるようになります。(40代 女性)

### 「人型」から「M字型」へ...

「私が料理をするからあなたが掃除をする」という役割分担ではなく、「私もあなたも料理も掃除もする」「できる方がする」という共同へ。

講演では、改めて「共同」の必要性が話されました。

パートナーへの依存を前提とする「人型」から、自事(自分の事は自分です)感覚を身に付けて、一人ひとりが自立した上で、一緒にいることを望んで手をつなぐような「M字型」の関係になればいいですね。



### 2 楽しく家事をしよう

山田さん流の掃除の方法を紹介します

#### キレイを撮る!

きれいな状態の部屋の写真を撮っておきましょう。

片付いている見本があると目標が見えるので片付けがしやすくなります。

学校でも、掃除用具入れやお道具箱に整理された状態の写真が貼ってあるところもあります。

頑張ればココまでキレイにできる!という写真があれば、「これから掃除するぞ!」という時の励みにもなりますし、「このキレイな状態をキープしよう!」の「この」が示せて説得力が増します。



#### 高い所へ登ってみよう!

天井の電球の交換で脚立に登ります。

普段見ている部屋と違った景色が広がります。そして、その中には、普段、下からは見えなかったようなホコリや汚れも見えてしまいます。

なにげなく過ごしている日常ですが、その間もズッと頭の上にはこのようなホコリやゴミがのっているのです。そう考えると、やっぱり「掃除は上から」ですね。

共働き家庭が増えていても「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という固定的な役割分担意識は根強く、女性に家事負担がかたより、出産・育児期の女性が働き続けることは難しい状況にあります。

しかし、地域や社会の活力を維持するために、女性の参画、活躍は必要不可欠であり、とくに、男性が積極的に家事・育児に関わっていくことが望まれています。